

第7章 弟子屈町の重点健康課題

弟子屈町の主な健康課題

1. 肥満児の割合が多い
2. 幼少期からの食事バランスの乱れ
3. 運動不足の児が多い
4. 高血糖（HbA1c6.5%以上）の方が多
5. LDL コレステロール高値の方が多
6. 女性の喫煙者が多
7. 生活習慣病のリスクを高める量の飲酒者の増加
8. 歯科健診の定期受診が習慣化していない
9. 未処置歯がある者の割合の増加
10. 自殺死亡率が高い

10 の健康課題の中から、本町における健康課題の大きいものは以下の通りと考え、この計画では重点事業として取り組んでいきます。

1 肥満児の割合が多い

小学校 5 年生の肥満児の割合は平成 30～令和 5 年度累計での推計は、男子 25.7%、女子 16.8%で、全道（4 年間累計 男子 18.7%、女子 12.4%）と比べて男女ともに高い状況にあります。食事バランスの乱れや運動不足などの要因によって起こることが考えられます。幼少期からの肥満は、成人期以降の生活習慣病のリスクとなり、将来的に健康寿命の短縮につながる可能性があります。そのため各関係機関と連携しながら、幼少期のうちから生活習慣病を予防する取り組みが必要となります。

2 高血糖（HbA1c6.5%以上）の方が多

国保加入者の特定健診結果では、HbA1c6.5%以上の割合が 18.6%となっており、全国の 11.4%よりも高い結果となっています。男女ともに肥満が多いこと、LDL コレステロール高値ということを考えると、生活習慣の改善に早期に着手しなければ、今後、心筋梗塞や脳梗塞の生活習慣病の重症化も懸念されることから、重点的に改善に取り組む必要があります。

3 自殺死亡率が高い

本町は自殺者が多い傾向があります。第二次計画ではゲートキーパーの養成をしてきており、認知度は 29.7%と低めではありますが、全国より高い値で経過しています。今後も、継続・拡大して事業を実施する必要があります。

4 未処置歯がある者の割合の増加

未処置歯のある者の割合が増加しています。このことから、各年代において歯科受診へつながっている者が少ないと考えられます。口腔内の健康は全身の健康へつながっている為、すべての年代へ歯科の知識の普及、治療が必要な場合は早期受診、また、定期的な歯科健診の受診を勧めていきます。